

2024 年度 第 1 回 4 月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時2024 年 4 月 10 日（水）
2. 開催の場所
栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席
委員総数 9 名
返信総数 0 名
出席総数 9 名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	石松英昭
	委員	若井明香
	委員	佐子達仁
	委員	高橋久夫
	委員	小川俊彦
	委員	藤原紀沙

4. 議 題
（1）栃木放送開局 60 周年記念
ラジオドラマ「転生賢者の異世界栃木ライフ！！」について
放送日 2024 年 3 月 30 日（土） 14：00-15：10（70 分番組）

（2）その他
5. 議事内容
（1）「転生賢者の異世界栃木ライフ！！」について
番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

【概要】

60周年記念のラジオコンテンツの一つとして、栃木にちなんだ「ラジオ・ドラマ」を制作・放送します。メイン・キャストとして「モンキーラジオ」で絶大な人気を誇る声優の山口勝平を起用した、CRT 初の本格的ラジオ・ドラマです。

【内容】

現代の流行りのコンテンツである「転生系」「異世界系」をテーマに、栃木放送オリジナルのラジオ・ドラマとして放送します。

馴染のある栃木の小ネタを随所に織り込んだ、コメディ風のラジオ・ドラマです。

【出演】

- ・山口勝平 (山口勝平のモンキーラジオ)
- ・須賀由美子 (CRT 栃木放送 須賀由美子の四季をうたう)
- ・折笠愛 (声優)
- ・中原茂 (声優) ほか 声優・役者。

【あらすじ】

魔王『イバ・ラキ』に支配されていた大地『キタカーン』

そんな魔王の支配を終わらせるため、賢者ルリは魔王のもとにたどり着き、

念願の魔王討伐を果たした……。

だが、魔王討伐後、行き場を無くした龍脈の力が暴れ始める。

魔王は言う『絶命と同時に龍の力が大地を裂く』と。

それと同時に、魔王によって力を抑えられていた女神『マロニエル』が目覚めた。

止まらない崩壊の中、マロニエルは賢者ルリに一つの願いを託し、究極転生魔法『カンピオーネ』を放つ。「次の人生では普通の女の子であるように」と。

光に包まれ、ルリが目覚めたのは、はるか未来の『キタカーン』だった……。

各委員からは

○ラジオドラマが長く、ラジオ番組のように70分間集中して聞くのは難しいと感じた。中だるみがあったが、前後を聞くことでストーリーは繋がられた。将来的には、時間を分けて行うことが良いかもしれない。イバラギ魔王、マロニエル、キタカーンなど北関東の要素があって面白かったが、カンピオーネというネーミングに関してはどうかと個人的には思った。敵だと思っていた龍が実は味方だったりといったストーリーの展開が面白かった。結論として、ドラマ自体は楽しいが、70分間の集中は難しいと感じた。

○ラジオドラマが若い世代向けであることを感じた、アニメに詳しくない年配者には難しいと感じた。ドラマが長く、中だるみがあった。番組が 60 周年で力が入っていたが、内容の検討が不足していたように感じた。言葉が難しく、ドラマの筋が不明瞭だった。地元の紹介は良いが、強引に盛り込まれているように感じられた。番組の対象や紹介の方法に関する意見があり、番組の方向性について議論が行われた。言葉遊びや自己陶酔的な要素に対する否定的な意見も出た。声優の有名さよりもストーリーをもっと年配者にもわかりやすくしてほしいという意見もあったが、地元の紹介は肯定的なところもあった。

○私が聴いた番組は録音したものであったので集中して聴くことができましたが、放送された時間帯が午後 2 時から 3 時ということで、途中で離席したりしたら番組の流れがちょっと見失うリスナーもいたのでは？ 内容については、転生や異世界をテーマにした作品が多い中で、最近のトレンドなどについて若者層の意見も聞いてみたい。私的には、ストーリーがありきたりで、そのターゲットと番組内容が合致しているかどうか疑問。

○とても挑戦的な番組を作ったなという印象を持ちました。ただし、ラジオドラマはテレビドラマよりも構成力や演出力が求められると感じます。その点で、まだまだ成長の余地があると思いました。しかし、ドラマとしては楽しめたと思います。ただ、栃木県を出すことが無理しているように感じ、全体的な構成に無理があるように思えた。異世界や転生を期待している聴取者にとって、そこを重視した方が良いと思った。個人的には興味が薄いので、この番組は私にはあまり適していないように感じますが、もう少し特色を持つ方が良いと思いました。今後ラジオドラマの本格的な制作には期待しており、声優さんのキャスティングについてはもう少し価格面なども含めて考慮が必要なのではないかと思いました。すべきだと思います。

○今回のラジオドラマは、有名な声優を起用する 60 周年記念作品として、通常ならテレビアニメとして制作するような内容をラジオ放送をするというとてもチャレンジングだと思いました。ただこれにより、リスナーがどの程度想像力を働かせて理解できたかについて疑問があります。栃木放送のリスナーが年齢高めであることを考慮すると、受け入れられるかどうかも疑問。放送時間が土曜日の午後であり、70 分もの長さであることから、一度にじっくり聞けるリスナーがどれだけいたのかも疑問。ストーリーは凝っており、中身も充実していた。ただ郷土料理のシモツカレへの描写や群馬県の描写の欠如、そして織姫神社の描写に関しても改善の余地があると思う。

○皆さんのおっしゃる通り、60周年を祝うにふさわしい挑戦的な番組だったと感じています。栃木放送では初めての珍しい長編ラジオドラマであり、出演者の熱演や臨場感など高いクオリティだと思いました。ただ、アニメに関連した番組ネタであるため、ラジオでの理解が難しい場面もあったと思います。放送時間についても長すぎると感じる人がいたり、他局のラジオ朗読番組コーナーが好評であることから、ドラマのストーリーは15分程度の時代劇ものなどでも良かったのかなと個人的に思いました。

○栃木放送開局60周年を祝うに相応しい挑戦的な番組であり、新しい経験として良いものだったと感じています。今後もこの経験を活かして次なる番組を期待したいと思います。ラジオドラマはイメージをかき立てる素晴らしい手段であり、挑戦してほしいと思います。ただし、皆さんが指摘しているように、70分という長さは無理があると感じました。また、ストーリーが分かりづらかったり、地元の紹介が多すぎたりと、改善点があると思います。転生もののオチがあまりにも突然であったり、ジェンダーやSDGsの描写についても懸念があった。普通の女の子というのは、男の子と恋をして結婚してお母さんになることだとか、男の意地で戦うとか、そういうのを刷り込まないでほしいなと思った。アニメの世界ではキャラクターの固定観念が強く、それをラジオドラマでも引き継ぐことは避けてもらいたい。今の時代、新しい視点やアプローチで番組を作ることが求められているのではないかと思う。

○番組では、地域ごとのネーミングや特産品の紹介が面白かったと感じられました。鳥山出身者としては、自分の地元が取り上げられてありがたかった。また、声優陣の演技によって臨場感が感じられ、日常と異空間の展開が面白かったとの意見もありました。一方で、70分という放送時間が長すぎると感じた、30分程度に分割することで聴きやすくなるのではないか。イントロ部分での展開の説明や前後のつながりの提示、そしてもくじなどの提示が番組の改善点だと思いました。さらに、地域巡りをテーマにしている番組であるため、今後の番組の期待をしたいと思う。

○声優陣のプロフィールを見て、番組のクオリティが非常に高いと感じられました。ただ、放送時間帯やターゲット層が気になりました。番組の内容は考えさせられるものであり、審議会で扱われるようなものと比べても軽い感じで楽しめました。しかし、せっかくの声優陣を使っているのに、ビジュアル要素が欠ける転生系の番組が若者からの支持を得るのは難しいのではと思った。そのため、県外の観光PRなどの2次利用も検討すべきだと思いました。想像するという意味でラジオの良さを生かした楽しい番組でした。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」(2024年4月21日)
- ② 当社のホームページに掲載(2024年4月22日)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2024年4月22日～)

以上